

リスクと保険特講Ⅱ

選択 2単位

前川 正

1. 授業の概要(ねらい)

保険会社のERM(全社リスク管理)は、保険会社の新しい経営の考え方として関心が高まっています。さらに国際および国内監督規制・欧州におけるソルベンシーⅡの導入・格付会社のERM評価など様々な観点からも焦点が当たってきています。保険会社のERM経営をどのように実践・実行していくか、について欧州のERM先進保険会社の例等を参考にし、ERMに関する基本的な理論を整理していきます。現代における保険会社の競争力の根源は「資本とリスクと収益」の三つを前提として財務健全性を維持しながら企業価値を向上させる仕組みとしての保険ERM経営であると考えられます。さらに保険ERMは資本とリスクと収益の三つを前提とした合理的意思決定に関わるものとして経営戦略そのものであるといえます。リスクと保険特講Ⅱでは、我が国保険会社グループの事例研究を中心に、何のためにどのようにしてERM経営を構築したのかという道筋を学んでいきます。

2. 授業の到達目標

- ①生命保険会社の主要リスクとERM取組みに関して理解することができます。
- ②損害保険会社の主要リスクとERM取組みに関して理解することができます。

3. 成績評価の方法および基準

課題レポートとプレゼンテーション

4. 教科書・参考文献

教科書

米山高生・酒井重人[編著] 『保険ERM戦略ーリスク分散への挑戦』 保険毎日新聞社
損害保険事業総合研究所[編]

ERM経営研究会[著] 『保険ERM経営の理論と実践』 金融財政事情研究会

5. 準備学修の内容

当日の講義は前回講義の各自の復習をもとに進めますので次のような準備学修課題を課します。

- ①前回講義で使用したPWFが資料は前回講義の翌日にはLMSにアップ、復習を兼ねてPWFが資料を熟読してください。
- ②講義内容に関連する文献等(各回講義の中で都度参考文献は紹介)の自主学習に取り組んでください。
- ③当日の講義では必要であれば資料あるいはレジュメを配布しますので講義内容の重要点を補記し復習に活用してください。
- ④課題レポートの作成

6. その他履修上の注意事項

- ①欠席及び欠の扱いについては原則大学の規定にフォローします。
- ②他の受講生の迷惑にならないように最低限の授業におけるマナーは厳守してください。
- ③受講に対してとくに対応が必要な場合(病氣・ケガ・障害)は遠慮なく申し出てください。
- ④授業をよりよくしていく上での建設的な意見・感想・コメントも遠慮なく連絡ください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーションー自己紹介・授業の進め方・成績評価の方法および基準・準備学修の内容等の概要説明
- 【第2回】 生保の主要リスクとERM(1)
生命保険会社の主要リスク・経済価値ベース、会計ベースによる管理・ERMの定義と位置づけ
- 【第3回】 生保の主要リスクとERM(2)
第一生命におけるERMの取組み(戦略)・第一生命におけるERMの取組み(組織)
- 【第4回】 生保の主要リスクとERM(3)
第一生命におけるERMの取組み(プロセス)・ERM推進における課題
- 【第5回】 損害保険会社のERM(1)
日本の損害保険会社のERMの発展・ERMのコンセプト・ERMの経営への活用「守り」の側面
- 【第6回】 損害保険会社のERM(2)
ERMの経営への活用「攻め」の側面・ERMの基盤
- 【第7回】 わが国主要損保グループのERM取組状況(1)
損保ジャパン日本興亜グループ(1)
- 【第8回】 わが国主要損保グループのERM取組状況(2)
損保ジャパン日本興亜グループ(2)
- 【第9回】 わが国主要損保グループのERM取組状況(3)
東京海上グループ(1)
- 【第10回】 わが国主要損保グループのERM取組状況(4)
東京海上グループ(2)
- 【第11回】 わが国主要損保グループのERM取組状況(5)
MS&ADインシュアランスグループ(1)
- 【第12回】 わが国主要損保グループのERM取組状況(6)
MS&ADインシュアランスグループ(2)
- 【第13回】 特別講義(外部講師)
- 【第14回】 総まとめ
- 【第15回】 課題レポートとプレゼンテーションの実施